

Rotary 



BE THE INSPIRATION
インスピレーションになろう

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

2018-19年度
ガバナー月信 **8**月号

Vol.2

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー **山本博史**



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2018-19年度
ガバナー月信 8月号 Vol.2

CONTENTS

ガバナーメッセージ 会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて	1
会員増強・新クラブ結成推進月間にあたって	2
ロータリーへの想い	4
アサンプション国際中学高等学校インターアクトクラブ結成のお知らせ	5
R I 第3ゾーン戦略計画推進セミナー 報告	6
近畿・四国（4地区）合同地区委員会 開催報告	7
合同地区委員会	8
2017-18年度 国際ロータリー トロント国際大会 報告	9
2021-22年度 ガバナー候補者推薦について	10
青少年交換委員会 来日生・派遣生歓送会 報告	11
2018年度 米山総会及び新規奨学生歓迎会 報告	12
地区財団活動資金（DDF）配分報告	13
My ROTARY IM別クラブ説明会を終えて	15
地区ローターアクト 活動報告	18
文庫通信	20
コーディネーターニュース	21
地区大会のご案内	22
ハイライトよねやま	24
敬弔／お知らせ	26



会員増強・ 新クラブ結成推進月間に寄せて

国際ロータリー 第2660地区
ガバナー

山本 博史
(大阪南RC)

皆様ご存知の通り、国際ロータリーの最優先事項はポリオ撲滅ですが、組織論的には会員の増強が最優先事項であります。

バリー・ラシン会長もサンディエゴ国際協議会の会長テーマ発表のスピーチで、「私達ロータリアンに与えられた責任は、先人達の活動の上に築き、将来の為に堅固な土台を築き、ロータリーが今年度や次年度だけでなく、ロータリーでの私達の活動、ひいては私達の生涯を越えて成長し続け、世界に役立っていけるようにしなければならないと述べておられます。

そして、会員数がこの20年間ずっと120万人程度で低迷し、成長しておらず、会員の高齢化が進んでいる現状をふまえ、2018-19年度のロータリーの目標、優先項目「クラブのサポートと強化」に関して、

1. 現会員を維持する
2. クラブの会員を増やす
3. 新クラブを結成する
4. 女性会員、40歳未満の会員、ロータリーに入会するローターアクターの数を増やす

の4項目をあげられ、トロント国際大会の閉会式では、「今年度のロータリーの成功は、10年先、20年先のロータリーの成功の為になければならないとも述べられました。

また、当地区においては、片山ガバナー年度に策定された第2660地区ビジョンでは、「クラブのサポートと強化」に関して、以下の3項目をあげています。

- 各クラブが将来のビジョンを持つように推奨します
- クラブ会員基盤を強化します
- 会員規模については地区で4,000名(純増82名×5ヶ年)を目指します

今更、RIや地区が目標としてあげるまでも無く、各クラブの皆様は会員増強が重要な課題であるとお考えでしょうし、また、RIや地区が会員を増強できるわけでは無く、各クラブの皆様に会員増強をお願いしているわけですから、目標数値をあげる事はおこがましいかもわかりません。しかし、バリー・ラシン会長のおっしゃる10年先、20年先のロータリーの成功の為に、また当地区の今後の発展の為に目標の数値を示させて頂きました。

会員増強無くして「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブは目指せませんし「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブを目指さなければ会員増強もはかれません。

素晴らしいロータリーの仲間を増やしましょう。新クラブ結成については、地区として、その方法や在り方を検討し、可能性を探ってまいりたいと思います。

最後にもう一度、バリー・ラシン会長のスピーチより引用させて頂きます。

「言葉で、そして、行動で、インスピレーションを与えてください。今日実行すべきことを実行し、明日に、そして自分がロータリーに入会したときよりも、去るときにもっと強くなっているロータリーを築いてください。

会員増強・ 新クラブ結成推進月間にあたって



クラブ奉仕・拡大増強委員会
委員長

藤井 眞澄
(大阪南RC)

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。

当2660地区も含めて日本のロータリークラブ会員数は1996.11をピークにおおよそ2/3まで減少しています。その要因として、経済の長期低迷、労働人口の減少、価値観の多様化などいろいろとされていますが、状況が変わればその変化に対応した増強活動が必要です。ロータリーに限らずどのような団体でも会員増強の努力を怠れば活動が停滞しいずれ行き詰ってしまいます。山本ガバナーが今月号の巻頭言でも言われていますが、会員増強無くして「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブは目指せませんし「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブを目指さなければ会員増強もはかれません。

さて、当地区の会員数ですが、末尾の添付図に示すようにここ数年は年度初め（7月1日）で3570名程度で推移しております。一応安定的に推移しているように見えますが、これは毎年度の入会者、退会者それぞれ300名近くある中で、たまたまバランスが取れているという見方もできると思います。継続した会員増強の努力を怠ればたちまちこのバランスが崩れてしまうのは自明の理です。

昨年度（2017-18年度）を振り返ってみますと、入会者は地区全体で332名となりましたが、一方退会者は323名となり、差引9名の増加となりました。（MyRotary 7/8 現在での集計値）各クラブの会員増強の努力に改めて御礼申し上げますとともに今年度も引き続き継続して会員増強に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。特に昨年度末（2018.6）には1月で140名を超える沢山の方が退会されていますが、転勤を含む仕事上の都合での退会が多く占めていますので、後任者の入会勧誘など確実に進めていただくようお願いします。

クラブ奉仕・拡大増強委員会では、今後の増強活動に資するため昨年と今年に各クラブにアンケートをお願いしました。その中で増強活動での課題としてクラブ内の問題として、魅力あるクラブづくり、会員の増強意識。会員の高齢化など外部に対しては、クラブの魅力・入会メリットの説明が難しい、ロータリーの知名度が低いなど。候補者に関するものとして、会費が高い、時間の余裕がないので入ってくれない、候補者の発掘が難しいなどが挙げられています。

またいろいろな取り組みをされているなかで増強に効果があった勧誘方法として、①全員参加による候補者の提出、②例会、親睦活動などへの候補者の招待、③少人数グループによる勧誘活動、④体系的で継続した取り組み、⑤会長などリーダーの熱意とリーダーシップ、⑥新入会員による勧誘、などが挙げられており、反対に増強がうまくいっていない場合の理由として①会員の危機感の欠如、増強活動が一部会員のみ、②会員の高齢化、③組織的、継続的な活動ができていない、④クラブ内に問題がある、⑤クラブの魅力欠如、⑥悪循環（スパイラルダウン）など、クラブ内のいろいろな問題が挙げられています。

会員増強活動は単に入会の勧誘をする活動だけでは成果が限定的であり、上記の結果および他地区のクラブでの増強成功事例などから会員増強の方向性として、クラブ会長などの強力なリーダーシップのもと次の観点で総合的に活動を進めてゆくことが大切であると考えています。

- ①例会、奉仕活動、会員の親睦・交流、人材育成などでそれぞれ工夫を凝らし、「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブを作ってゆく。（クラブに魅力がなければ入会してもらえません）
勿論ロータリーたる所以をしっかりと理解するため研修の充実を図ってゆくことは大切です。
- ②ロータリーの魅力をネット、パンフレット、マスコミなどで積極的に発信し、認知度を高めてゆく。
- ③全員参加により会員候補者を発掘し、候補者リストを作成する。リストは随時更新し、次年度に確実に引き継ぐ。
パンフレットなどロータリーを分かりやすく説明するツールを充実し、熱心な勧誘活動を継続的に行う。また、男性に限らず、ロータリーふさわしい人は積極的に勧誘する。
- ④より幅の広い候補者に入会していただくため、必要に応じクラブの柔軟運営ルールを活用して、クラブ運用の多様化、正会員種別の多様化、衛星クラブの活用などを検討する。

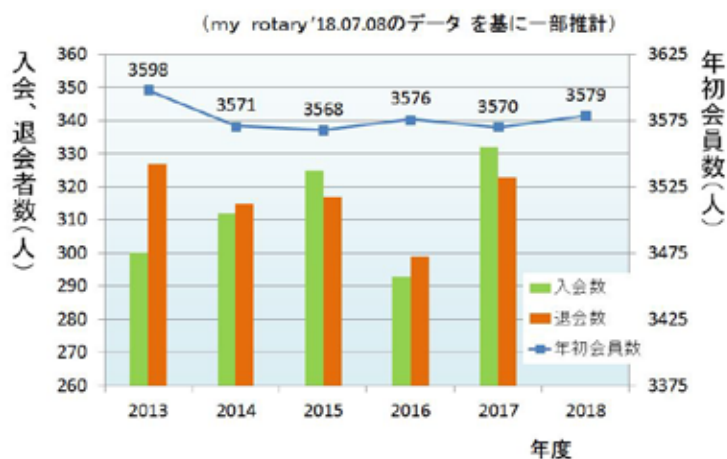


⑤ロータリーの活動は原則として単年度制ですが、これらの活動を毎年スパイラルアップしてゆくためには、「活動の継続性」が重要です。クラブの「戦略計画委員会」などで、会員数も含めた将来のありたいクラブの姿を描き、具体的な目標と行動計画を策定し実行し、毎年結果をチェックし状況の変化も加味して見直してゆく。

以上ですが、特に会員増強がうまくいっていないクラブはこれらを参考にして前向きに取り組んでいただきたいと思います。

片山ガバナー年度に策定された第2660地区ビジョンでは5年間で4000名(純増82名×5ケ年)を目指すとされています。厳しい状況ではありますが、今年度の大幅な会員増を目指して頑張りましょう。

最近の入退会者数と年初会員数



2017-18年度 月別入退会者数



ロータリーへの想い

IM第1組
ガバナー補佐

青山 快玄
(大阪北梅田RC)



私の職業分類は仏教です。68になってもまだ「この若僧が！」と叱られる業界で、もうすでに40数年が経とうとしています。そんな中、修行の身で思うことは“万物から教えをこう、そして覚者たれ、生死を問わず成仏せしめん”これを座右の銘として、日々生活をしています。

さて、高齢化社会と云われて久しい現代、1年1年伸びる平均寿命が100歳になるのもそう遠い未来では無いのかも知れません。私のクラブに平沢さんという90近くの大先輩がおられました。「若い君等みたいに動けんようになったから、せめて例会の受付だけでも手伝うわ」と言って、毎回受付に座って皆を迎えて下さいました。いつも微笑んで見つめて下さる暖かいその存在は私達の大きな心の支えであり励みになりました。ほんの些細な事と捉える人、何とありがたい事と受け取る人。世の中様々です。

やさしい心根を持つロータリアンは、全て後者の筈です。生かされている事、そして生きることの大切さを知る。これは万人に与えられた権利でしょう。その中で人が人のために何かをさせていただく、世間に少しでも恩返しをするという先人の知恵を絶対に忘れてはなりません。

20年ほど前、私にとって知恵を活かすため教えられたことがロータリーを知るきっかけになりました。当時、高野山の命を受けタイ別院に布教のためチェンマイに赴いた時、おりしも村では子供の不幸がありました。劣悪な環境で茶色く濁った飲料水の事故とのことでした。

村では、子供の出生率が70%にも満たないそんな状況を聞いても為す術無く、己の無力さを痛感するだけでバンコクに戻りました。間もなく向かったダウンタウンの小学校では青いパイプが何本も繋がった先に蛇口があり、ひねると澄んだ水が勢い良く出てきました。その前のプレートには「寄贈RC」の文字が…今では当たり前のGG(グローバル Grant)事業ですが、その頃の私にとっては驚きでした。

帰国してすぐ尊敬する先輩ロータリアンから勧めていただき入会いたしました。以来、クラブライフとしてMG(マッチング Grant)からGG 10数年、継続事業を実施しています。チェンマイの子供達もロータリーが実施する他の地域活動に参加協力する立派な青年に成長しています。これからも善行の連鎖を継承していきたいと思っています。

今年度、RI会長テーマは「インスピレーションになるう」です。国の内外を問わずロータリーの強い絆を持って少しでも多くの人々の善行を鼓舞しましょう。



タイ・チェンライの公立小学校の子供達が
出迎えてくれました(2009年MG事業)



青いパイプの先に浄水器が設置されています
(2010年MG事業)



今年度、タイ・ナン県立病院への透析器贈呈式
(2018年GG事業)

当クラブで2008年MGから始め、約10年継続している事業です。数年前からGGに移行されて、受益者が格段に増加しました。地区委員会に出向して多くの情報や手法を学び、クラブ内事業でリーダーとなって参加、推進する。このように各奉仕分野で、リーダーの存在は不可欠です。事業継承のためにも、次のリーダーを育てていくことも大切なことです。

本年は未来計画の中で中期的な目標を定めて実現していくように考え、行動していきたいと思っています。

アサンプション国際中学高等学校 インターアクトクラブ結成のお知らせ

インターアクト委員会
委員長

中野 隆二
(大東RC)

7月1日に池田くれはRCの提唱のもと、アサンプション国際中学高等学校インターアクトクラブが結成されましたので、お知らせいたします。今年度、地区内インターアクトクラブは10校となりました。

クラブ情報は下記のとおりです。

アサンプション国際中学高等学校インターアクトクラブ

認証日 7月1日
理事長 宮本 恵子
校長 江川 昭夫
顧問 松平 麻也、ミゲル タピア
IAC会長 古淵 日菜
部員数 7名

池田くれはRC

2018-19年度 会長・IA特別委員会 委員長 田中 隆弥



RI第3ゾーン戦略計画推進セミナー 報告

RI第3ゾーンRPIC
パストガバナー

横山 守雄

(大阪中央RC)

本年度の標記セミナーは第3ゾーン11地区所属の120名を超える地区・クラブリーダーが参加し、7月14日(土)グランビアホテル大阪で開催されました。当セミナーはRC、RPIC、及びRRFCが毎年度交代で幹事役を務め、西日本の主要都市で新年度が始まる7月初旬に開催する取り決めになっております。本年度はRPIC部門が主幹事となり、大阪で開かれました。

石黒慶一・三木明両RI理事、北TRF管理委員、水野功会員増強プロジェクトリーダー、高島凱夫RC、田村泰三RRFC、松本祐二EPNZC、大室すぐるE/MGA、及び11地区ガバナーが、プレゼンターとなり、それぞれの担当分野の「新年度戦略計画推進」について、ご講演頂きました。

第2660地区はホスト地区として、山本博史D G始め、井上暎夫、若林紀夫、岡部泰艦、立野純三、松本進也の各P D G、四宮孝郎D G E、簡仁一D G N、溝畑正信A R R F C、宮里唯子地区代表幹事、A D G、A D G E、地区委員長、副委員長、クラブ会長・幹事、総数33名の皆様にご参加頂き、本セミナーを盛り上げて頂きました。

今回のセミナー基調講演者、D 2 7 5 0 P D G 水野功様には、日本の全地区が直面しております会員基盤弱体化の課題と、その対応策、そして「日本ロータリーの3ゾーン復活」に向けた戦略計画について、数々のD a t aを踏まえてご講演頂きました。

三部門コーディネーターの本年度戦略計画の発表後、本セミナーのハイライトとして、第3ゾーン各地区のそれぞれのガバナーの皆様は、担当地区の「戦略計画」の進め方についてお話し頂きました。各地区がおかれた現況は様々です。その対応策も様々です。各地区ガバナーのバラエティに富んだプレゼンテーションが、セミナー参加者の今後の地区運営、クラブ運営に幾分でも参考になれば幸いです。

次年度の当セミナーは高島凱夫RCが主幹事として2018年7月13日に、同じくグランビアホテル大阪で予定されております。次年度も各地区から多数の皆様にご参加頂き、地区運営、クラブ運営の向上に資して頂きたいと願っております。



近畿・四国(4地区)合同地区委員会 開催報告

地区代表幹事 **宮里 唯子**
(茨木西RC)

6月9日(土)に初めての試みとなる「2018-19年度のための国際ロータリー 近畿・四国(4地区)合同地区委員会」を、大阪で開催致しました。

参加地区は2670地区(愛媛・香川・高知・徳島)、2640地区(大阪南部・和歌山)、2680地区(兵庫)、そして当2660地区(大阪北部)の4地区で、委員会は社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、青少年奉仕部門(青少年交換委員会、ローターアクト委員会、インターアクト委員会、RYLA委員会)、職業奉仕委員会、クラブ奉仕・拡大増強委員会、広報・情報・公共イメージ向上委員会の9委員会を対象と致しました。

元々の発案者である4地区のガバナーエレクト(2670地区 桑原DGE、2640地区 檜畑DGE、2680地区 矢野DGE および当2660地区 山本DGE)が司会進行から講評・閉会まで担当され、プログラムの中心を委員会別協議(100分)とし、各地区の活動内容やこれに関わる資料を提供しながらの情報・意見交換を行いました。

各地区が「当然のこと」「当たり前」と認識していた活動内容やそれぞれの地区の方針・報告が他地区では全く異色のものであったり、他地区で実施されている新しい活動方法や、地区内クラブに対する啓発活動に刺激を受けたりと、2018-19年度の各地区、各委員会にとって収穫の多い合同委員会となりました。

事後の懇親会では、各委員会ともに地区を跨いで、さらにロータリアンの親睦の輪が広まりました。当地区以外の他地区委員皆様には遠方から御出席頂きましたが、「大変勉強になった」「毎年開催して欲しい」など概ね好評を得て、地区幹事団一同胸をなでおろした次第です。

今後とも、4地区のガバナーのみならず、各地区委員会の交流が深まれば開催した意義は充分あったと考えています。

末尾になりましたが、当日出席のうえ熱心に協議頂きました当地区各委員会の委員長および委員の皆様にご心より御礼申し上げますと共に、2018-19年度の各委員会の益々のご活躍を期待申し上げます。



地区合同委員会 開催報告

地区代表幹事 **宮里 唯子**
(茨木西RC)

去る7月7日、4年ぶりとなる地区合同委員会を大阪YMCAにて開催致しました。西日本の集中豪雨による土砂崩れや浸水など甚大な被害が刻々と報道されるなかでの開催でしたので、山本DGは直前まで延期を検討されましたが結局、開催にふみきられました。地区役員はじめ地区委員の皆様には予定通り多数ご出席頂きました。

プログラムは山本ガバナーとして、初めての「日本のロータリー100周年を祝う鐘」の点鐘ではじまり、開会挨拶、地区委員会財務手続き・運営要件／指針の説明を経て、立野PDGより決議案・規定審議案・戦略計画についてご説明を頂きました。

その後、休憩をはさみ全16委員会の委員長に活動計画や方針について発表頂いたわけですが、各委員会委員長皆様とは2017年10月頃より、山本DG自らエレクトとして何度も当時の委員長予定者の方々と面談のうえ、地区方針および委員会活動方針を協議させて頂きました。その成果でしょうか、各委員長には意義深い活動計画を策定のうえ発表頂いたということに、山本DGはじめ地区幹事団一同、心より安堵すると共に、感銘を受けました。

プログラム最後に講評と閉会御挨拶を片山直前ガバナーより頂戴し、3時間半におよぶ合同委員会は閉会致しました。

この委員会を皮切りに、地区委員会が「チーム山本」として地区内クラブのサポートと強化を支援していくという共通の目標に向かって歩み出したと言えます。

末尾になりましたが、悪天候のなか、御参集頂いた地区役員と地区委員の皆様、発表に際して周到なご準備を頂いた委員長各位に心より敬意を表し、感謝を申し上げますとともに、山本DG年度の各委員会の御活躍を心より期待申し上げます。



2017-18年度 国際ロータリー トロント国際大会 報告

国際奉仕委員会
委員長

前田 要之助
(大阪東淀ちゃやまちRC)

6月22日に日本を出発しました。その日の夜にカナダ国内で最大の国際空港トロント・ピアソン国際空港に到着しました。空港からはUP Express (ピアソン国際空港電車) を使いターミナル1からダウンタウン・トロントまで25分で移動できます。ちなみにトロント国際大会の登録カードがあると無料で乗車できます。

翌日23日土曜日はあいにくの雨でしたがナイアガラの滝へと観光に行きました。観光バスに乗り2時間でナイアガラのテーブルロックに到着します。世界有数の観光地であるナイアガラの滝は大変な賑わいでした。

24日は日本人朝食会がハイアットホテルで開催されました。600名の日本のロータリアンが参加し朝食後は来賓や日本領事のご挨拶につき朝食会の目的である寄付を手渡しました。

この日、開会式がエア・カナダ・センターで行われました。会場のセキュリティは厳しく入館に30分ほどかかりました。開会式では先住民族ミシサガ族のチーフR. ステイシー・ラフォーム氏から歓迎の挨拶、イアン H. S. ライズリー国際ロータリー会長が、ロータリーとトロントに共通する「多様性」の価値について話をしました。さらに、子どもの健康、教育、保護、災害救援に力を入れる国際的な非営利組織、セーブ・ザ・チルドレンUKの会長英国のアン王女による特別講演もありました。

全体会議では識字率向上、医療、人権擁護の分野で活動しているローラ・ブッシュ元米国大統領夫人、ニュージーランド元首相で国連開発プログラムのヘレン・クラーク代表、世界保健機関(WHO)のテドロス・アダノム事務局長、グローグ財団とフィスチュラからの解放財団創設者のアン・グローグ氏、ユニセフUSAのキャリル・スターン会長の講演、またカナダのジャスティン・トルドー首相に「ポリオ撲滅推進功労賞」の授与など多彩なプログラムが組み込まれていました。コンベンションセンターの友愛の広場ではロータリアンが行う奉仕活動や環境への取り組みの紹介ブース、ハンブルク国際大会の紹介ブース出店や様々な企業との出会いがあり会場全体がインスピレーションに溢れていました。

会場以外でもディスティラリー地区ではロータリーのタベが開催されロックとカントリー音楽をライブで聴きながら、いろいろなお店のフードを味わいました。4日間に亘る全体会議や分科会などロータリーの学びにつながる多くの機会にも恵まれたトロント国際大会でした。





2021-22年度 ガバナー候補者推薦について

国際ロータリー 第2660地区
ガバナー

山本 博史
(大阪南RC)

地区ガバナー指名委員会
委員長

片山 勉
(大阪東RC)

RI細則第14条14.010の規定及び地区ガバナー指名委員会の規定により地区内の各クラブで2021-22年度ガバナー候補者がおられましたら、2018年10月31日までにガバナー指名委員会委員長(地区ガバナー事務所)宛に必着するよう提案して下さい。

なお、2021-2022年度に地区ガバナーにノミネートされるための資格条件については、RI細則第16条16.070、16.070.1～16.070.5の条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナー候補者の選択を行うにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された候補者に限定されるものではない、ということをご了承下さい。

RI細則第14条14.020.5(参照)

青少年交換委員会 来日生・派遣生歓送会 報告

2017-18年度 青少年交換委員会
委員長

横田 孝久
(東大阪RC)

日時：2018年6月16日(土) ①14:00～15:00 派遣候補生第8回(最終)オリエンテーション
②15:30～16:30 来日生日本語スピーチ発表会
③17:00～19:00 来日生・派遣生歓送会

場所：上記①はガバナー事務所、②、③はシティプラザ大阪 4F「眺」

参加者：片山G、岡部PG、泉PG、山本GE、溝畑地区学友委員長、来日生4名、派遣生5名、委員会関係者13名、ROTEX9名、ホストクラブ・ホストファミリー関係者36名 計72名

青少年交換委員会にとって今年度最後の事業が無事終了しました。当日ガバナー事務所にて派遣候補生の最終オリエンテーションを行い、候補生達ははれて正式に派遣生となり、その後場所をシティプラザに移し、ROTEX主催による来日生による日本語スピーチ発表会が行われました。

発表した4名は手元に原稿は用意していたものの、皆一様に流暢な日本語で話し、日本での驚きや思い出、各位への感謝の言葉を綴りました。この発表会ではROTEXの前田会長による開会宣言の後、山本GEにご挨拶を頂戴し、発表後には岡部PGに講評をお願いしました。岡部PGも言われましたが、来日当初ほとんど日本語が話せなかったとは思えないほど全員日本語が上達し、参加ホストファミリーの中には思わず涙ぐむ方々が見受けられました。

スピーチ発表会後、部屋の設えを変えて歓送会を催しました。私の開会挨拶と共にご紹介した地区役員を代表して片山Gにご挨拶を頂戴し、乾杯のご発声は泉PGにお願いしました。

歓送会の後半は派遣生各位による決意表明に続いて、来日生と派遣生、ROTEXによる歌の披露そしてサプライズとしてROTEX前田会長によるピアノ演奏のプレゼントもあり、大いに盛り上がりました。

来日生のこの一年間の活動をROTEXが納めたショートムービーの上映では、みんなが懐かしさと共に泣いたり笑ったり。特に最後のホストファミリーからのビデオメッセージでは、泣きじゃくる来日生もいました。最後に来日生には修了書、ホストファミリーや学校関係者には感謝状を贈呈し、生沼次年度委員長による締め挨拶と「手につかないで」を合唱してお開きとなりました。

尚、今年度限りでこの委員会を退任する3名の委員を代表して委員長の私がROTEXより花束の贈呈を受けました。地区委員会の皆さん、ガバナー事務所のスタッフの皆さん、そしてROTEXの皆さんのお陰で良い経験と楽しい時間を共有させていただきありがとうございました。今回見送る来日生や派遣生、そしてROTEXの皆さんが将来ホストファミリーとして、自分達がそうしてもらったように、留学生を受け入れて青少年交換の輪を繋いでいただくと確信しています。



2018年度 米山総会及び新規奨学生歓迎会 報告

米山奨学委員会
委員

坂田 妙子
(池田くれはRC)

日時：2018年7月8日(日) 17:00～20:30

場所：K K R ホテル大阪3 F 銀河

出席者：山本博史G、公益財団法人米山記念奨学会 副理事長 若林紀男PG、大谷 透PG、泉 博章PG、立野純三PG、片山 勉直前G、四宮孝郎GE、簡 仁一GN、田中隆弥IM1組ガバナー補佐エレクト、古城紀雄IM2組ガバナー補佐エレクト、福田治夫IM3組ガバナー補佐エレクト、地区米山奨学委員会11名、米山奨学関係者各クラブ 幹事米山奨学学友会 総計184名

2018年7月8日(日)、K K R ホテルにて2018年度ロータリー米山奨学生学友会総会及び新規奨学生歓迎会が開催されました。総会では司会の鄭海欄さん、NUGROHO ALI F I A N T O A D Iさんの進行のもと、2018-19年度の会長、ディネスシュレスタさんの挨拶から始まり、「米山学友会の絆を大切に」とのお言葉をいただきました。続いて、来賓紹介が行われました。その後、国際ロータリー第2660地区 山本博史Gによる祝辞として、前年度の寄付ご協力のお陰で49名の奨学生を受け入れる事ができたとお言葉を頂戴いたしました。

前年度報告2017年度活動報告を2017-18年度副会長アリフザイニさん、2017年度会計報告2017-18年度会計東林華さん、会計監査報告2017-18年度会計監査李レイヨさん、地区奨学委員会から寄付金の目録贈呈を、岡部倫正地区米山奨学委員会委員長より贈呈致しました。本年度方針とし、2018年度の役員紹介をディネス会長より発表され、2018年度活動計画を関スラさん、2018年度の会計予算案を会計東林華さんより報告がありました。

特別公演では、失敗しないWEB.SNS運営法上級SNSエキスパート吉村正裕様のご講演がありネットの恐ろしさを、お話いただきました。その後、出席者全員の記念写真を撮影し二部が終了しました。

新規奨学生歓迎懇親会では、韓国学友会の会長 Jeon Byong Taeさんの挨拶では、2019年7月27日米山学友会世界大会をモンゴルにて開催する事をご報告いただきました。ご挨拶並びに乾杯を公益財団法人 米山記念奨学会副理事長若林紀男PGにいただきました。その際、若林PGからは、大雨の被災に合われたかたへのご心配と、学友会の方、奨学生の無事が確認できたことへの安堵のお気持ちをお話いただきました。災害や被災地に関しましては、昨年の財団法人50周年記念を熊本で開催するにあたり、被災地の方々を元気にし、まさに奉仕の心を持ち、「感謝in 熊本」の活動をされたことにも触れられておりました。

その後学友会紹介、余興とし、米山教室で行なっている内容を劇として披露し、続いて新規奨学生の紹介をいたしました。そして閉会の挨拶を、2016-17年度会長松田振興さんの「初心忘るべからず」の言葉で締めくくり、2018年度ロータリー米山奨学生学友会総会及び新規奨学生歓迎会が無事終了いたしました。

最後にロータリーソング『手に手つないで』を全員で合唱し、大盛況のうちに閉会となったことを申し添えます





地区財団活動資金 (DDF) 配分報告

2015-18年度 ロータリー財団委員会
委員長

宮里 唯子
(茨木西RC)

地区の財団補助金プログラムの参加資格認定『地区の覚書 (MOU)』では、第7項 補助金の使用に関する報告で、「地区は、全ての地区財団活動資金 (DDF) の使用に関して、クラブに報告しなければならない」としています。

つきましては、2017-18年度の当地区DDFの配分を以下御報告申し上げます。

2016-17年度 第2660地区 DDF配分実績

収 入 (US\$)		支 出 (US\$)	
2014-15年次基金寄付の50%	291,944.94	ポリオ基金寄付	58,400.00
恒久基金寄付収益の50%	28,535.15	ロータリー平和センターへ寄付	10,000.00
2016-17年度からの繰越金	104,608.94	地区補助金 (○注1)	159,939.00
地区補助金返金	25,366.57	グローバル補助金 (○注2)	100,410.00
合 計	450,505.60	合 計	372,218.00
残 高 (2018-19年度に繰越)			121,756.60

地区補助金配分実績 (○注1)

クラブ名	活動概要	補助金額 (US\$)
大阪中之島	ベトナムの病院に手術器具寄贈	3,245.00
大東	保育園に遊具寄贈	3,825.00
大阪ユニバーサルシティ	児童養護施設の児童をテーマパークに招待	2,945.00
大阪南	児童擁護施設でコンサート開催、楽器寄贈	5,455.00
茨木	インドネシアの子供にヘルメット支援事業	8,842.00
吹田	ミャンマー助産師の技術向上に医療器材寄贈	6,822.00
八尾中央	タイの学校児童栄養改善のため鶏寄贈	2,784.00
大阪うつば	老人のためのセラピーハウス事業	5,455.00
大阪リバーサイド	ホスピスの児童に秋祭り開催と遊具寄贈	5,455.00
大阪城南	役所の子育てコーナーに玩具寄贈	1,953.00
大阪柏原	児童擁護施設の児童に雪遊び体験提供	4,714.00
門真	地域社会へ防犯カメラの寄贈	2,209.00
吹田西	タイの学校に浄水器寄贈	2,273.00
大阪西	インドネシアの児童擁護施設の移設工事支援	4,691.00
八尾東	地域の障害者支援	5,011.00
交野	地域住民のための神社参道に桜の木を寄贈	4,909.00
枚方	知的障害児支援事業	3,455.00
豊中千里	カンボジア住民に医療サービスの提供	2,901.00
池田くれは	母子家庭の子供達を移動動物園に招待	5,455.00
大阪梅田	知的障害児と父兄を野球観戦に招待	2,191.00
大阪帝塚山	障害者に野球試合と用品を提供	2,136.00
東大阪	台湾地震被災小学校に図書寄贈	3,000.00
箕面	国際交流協会へ多言語書籍など寄贈	2,186.00
高槻西	インドにおける医療支援	1,836.00



大阪フレンド	ミャンマーに楽器寄贈	2,852.00
大阪西南	盲導犬訓練施設に備品寄贈	5,371.00
東大阪東	地域相談会開催	4,545.00
大阪梅田東	インドネシアの小学校防災工事の支援	6,364.00
東大阪中央	児童擁護施設の児童をテーマパークへ招待	1,823.00
大東中央	子育て支援団体に遊具寄贈	2,384.00
大阪心斎橋	フィリピンの児童のための給食と食育	1,818.00
高槻東	小児病棟でクリスマス開催、玩具・図書寄贈	2,409.00
大阪北梅田	支援学校へタブレット寄贈	2,636.00
大阪なにわ	スリランカの就労児童に文具寄贈	1,818.00
くずは	福祉・子育て支援団体に備品寄贈	2,013.00
大阪難波	児童擁護施設に備品寄贈	2,096.00
大阪堂島	障害者のスポーツ観戦事業	1,898.00
大阪東	ベトナム大学生に奨学金提供	3,164.00
管理運営費	銀行振り込み手数料	4,000.00
臨時費	熊本地震復興支援(阿蘇神社修復)	21,000.00
合 計		159,939.00

グローバル補助金のためのDDF配分実績 (○注2)

代表提唱クラブ(RC)	活動概要	補助金額(US\$)
大阪アーバン	GG1745069 基本的教育と識字率向上(人道奉仕)	12,000.00
大阪梅田	GG1860355 疾病予防と治療(VTT)	4,000.00
大阪心斎橋	GG1862631 疾病予防と治療(人道奉仕)	18,000.00
大阪平野	GG1865707 疾病予防と治療(人道奉仕)	12,000.00
豊中	GG1863636 疾病予防と治療(人道奉仕)	20,000.00
東大阪	GG1874335 平和と紛争予防/紛争解決(グローバル奨学生)	34,410.00
合 計		100,410.00

My ROTARY (クラブセントラル・Rotary Showcase・ブランドリソースセンター) IM別クラブ説明会を終えて

広報・情報・公共イメージ向上委員会
委員長

樋口 信治
(大阪RC)

6月下旬～7月初旬にIM別My ROTARY説明会を実施しました。各クラブ事務局員の方を対象として、ガバナー事務所にノートパソコンを持ち込んで頂き、小生がにわか仕立ての講師となり、My ROTARY機能の中から、クラブセントラル・Rotary Showcase・ブランドリソースセンターの概要説明を行いました。今回のガバナー月信はMy ROTARY説明会の報告を載せて頂きたく存じます。

IM別説明会ですから6回に分けて行う計画でした。一度にかなりの方がガバナー事務所のWi-Fiを通じて、My ROTARYにアクセスして大丈夫だろうか、途中でパソコン画面がフリーズしないだろうか、といった心配を抱えて6月11日(月)にIM3組説明会をスタートさせましたが、それほど大きな問題もなく、予定通り3回の説明会をやり終え、6月18日(月)の朝を迎えました。午前8時前に震度6弱の地震が大阪北部で発生し、その日に予定していたIM2組説明会以降の3回の説明会を7月に変更するハプニングとなりました。最終的に7月9日(月)のIM6組説明会で6回の説明会を終え、日程変更等もあり7クラブのご参加が得られませんでしたので、7月31日(火)に追加説明会を実施する事になりました。

●何故、今、My ROTARYなのか？→2,880万ドルのシステム投資(2016規定審議会)

国際ロータリーは2016年規定審議会で、2017-18年度から人頭分担金をそれまでの3年間は半期0.5ドルの値上げだったものを2ドルに4倍上げる事を決めました。私は当時2660地区の代表幹事だった関係でオブザーバーとしてこの会議に出席していました。

つまり、2016-17年度(当地区は松本進也ガバナー年度)半期28ドルだったものを、2017-18年度(片山ガバナー年度)は半期30ドル、2018-19年度(山本ガバナー年度)は半期32ドル、2019-20年度(四宮ガバナー年度)は半期34ドルになりました。

年間にすると、56ドル(28×2)だったものを、60ドル→64ドル→68ドルとなります。世界中で120万人のロータリアンがいますから、値上げ分だけで国際ロータリーが手にする金額は3年で2,880万ドル(約32億円)になります。イギリスなどの国際ロータリーへの人頭分担金制度が異なりますので、厳密には異なりますが、直接的な表現をすところとなります。

国際ロータリーはそんな大金をどうするのかというと、My ROTARYの機能拡充を行い、世界中のロータリアンやロータリークラブの活動を支えていくのだと、ジョン・ヒューコ事務総長は規定審議会で声高らかに訴え、この値上げが承認されたのでした。

●My ROTARYがロータリー活動を支える時代に

2,880万ドルのシステム投資に対する「費用対効果」を上げるべく、以来国際ロータリーは、ロータリアンにMy ROTARYアカウントを取得するよう呼びかけて来ましたが、今現在、My ROTARYにアカウントを持っていないでもロータリアンにとっては何ら支障がない、また日本のロータリークラブの大半はクラブ毎に事務局を持っていて、会員情報やクラブの活動記録が保管され、このような事務局機能が継続的なクラブ活動の支えになっているため、「何を今更」という感があるのも否めません。

しかし世界に目を転じてみると、事務局を抱えるロータリークラブは少なく、これらのクラブ情報をクラブ会長が持ち回りで引き継ぎ、ロータリー活動を行っているのが実態です。引継ぎの際に過去の不明朗な活動資金の使途が判明し、内紛が起こって、クラブ分裂に繋がるといった不祥事が多々起こっている事を例に出して、ラテンアメリカの国から来られた代議員が規定審議会で人頭分担金値上げに対する賛成発言をされていたのが印象的でした。

クラブ会員情報や、奉仕活動をはじめとするクラブ活動記録を、一定のフォーマットに従って、世界中のロータリークラブが記録していくMy ROTARYのシステムが今まで無かったことが問題であるとも言えます。



ロータリークラブは個人の持ち物ではありません。世界や地域社会になくてはならない奉仕活動団体であり、単年度で役員が変わり、継続して、持続可能で前向きな変化を世界や地域社会に及ぼしていく団体です。それを支える情報データベースが一元管理されるのは時代の要請であり、My ROTARYをベースとしたロータリー活動が行われるように変化して来ていると言えます。

日本のロータリークラブの大半が会員減少とロータリアンの高齢化を迎え、縮小均衡に見舞われています。このままでは事務局を保持できないクラブが続出しかねません。ロータリー活動の資産は長年にわたって、活動されてきた会員と、会員が行った寄付であり、奉仕活動にあります。この資産を次の世代に引き継いでいくためにも、My ROTARYのような一元化された情報データベースが不可欠な時代になったと言えます。

●国際ロータリーのビジョンと2660地区のビジョン及び中期目標

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

国際ロータリーは「私たちロータリアン」が主語となるビジョンを策定しました。ビジョンとは「綱領」と言い換えても良いかも知れません。つまり私たちロータリアンがロータリアンたる所以、存在意義を表したものがこの文章に表現されていると考えます。

「世界で、地域社会で」の後に「自分自身の中で」「持続可能な良い変化」という言葉があります。これが非常に重要なことであると考えます。「自分自身の中で持続可能な良い変化」を生むために、自らの何かが前向きに変化していくべきであり、そうしようではありませんかと呼びかけているのです。

2660地区は国際ロータリーのビジョンを受けて、地区のビジョンと中期目標を設定しました。その中に「60%のロータリアンがMy ROTARYにアカウントを持つ事と、75%のクラブがクラブセントラルに活動情報を記録する事」を目標設定に掲げました。

情報は待っていてやってくる時代ではありません。自ら必要な情報を取りに行き、取捨選択する時代だと思えます。「自分自身の中で持続可能な良い変化」を生むために、My ROTARYアカウントを取得し、クラブセントラルにクラブ情報を記録する事で、ロータリークラブの活動を次の世代に引き継いでいく事が求められているのだと考えます。



2018-19年度 国際ロータリー 第2660地区 MY ROTARY 登録状況 [2018年7月度]

クラブ名	会員数	登録人数	%
池田	31	11	35.5%
池田くれは	33	31	93.9%
箕面	29	18	62.1%
箕面千里中央	21	4	19.0%
大阪水都	45	10	22.2%
大阪中央	46	46	100.0%
大阪北梅田	63	29	46.0%
大阪北	189	121	64.0%
大阪大淀	40	22	55.0%
大阪そねざき	29	4	13.8%
大阪梅田	33	13	39.4%
大阪梅田東	37	12	32.4%
豊中	36	24	66.7%
豊中千里	21	4	19.0%
豊中南	37	11	29.7%
合計	690	360	52.2%

クラブ名	会員数	登録人数	%
茨木	28	16	57.1%
茨木東	37	2	5.4%
茨木西	29	18	62.1%
大阪東淀ちゃやまち	25	5	20.0%
大阪淀川	28	4	14.3%
千里	29	15	51.7%
千里メイプル	20	5	25.0%
摂津	33	8	24.2%
新大阪	34	28	82.4%
吹田	61	26	42.6%
吹田江坂	27	11	40.7%
吹田西	48	14	29.2%
高槻	51	28	54.9%
高槻東	38	24	63.2%
高槻西	19	7	36.8%
合計	507	211	41.6%

クラブ名	会員数	登録人数	%
大東	40	19	47.5%
大東中央	20	6	30.0%
枚方	49	18	36.7%
門真	30	9	30.0%
交野	34	10	29.4%
香里園	15	8	53.3%
くずは	75	41	54.7%
守口	43	5	11.6%
守口イブニング	23	2	8.7%
寝屋川	39	6	15.4%
大阪東	119	65	54.6%
大阪城東	37	17	45.9%
大阪城北	54	32	59.3%
大阪鶴見	34	27	79.4%
合計	612	265	43.3%

クラブ名	会員数	登録人数	%
東大阪	73	39	53.4%
東大阪東	64	41	64.1%
東大阪西	31	5	16.1%
東大阪中央	18	17	94.4%
東大阪みどり	21	6	28.6%
大阪柏原	27	10	37.0%
大阪御堂筋本町	44	25	56.8%
大阪難波	59	30	50.8%
大阪なにわ	14	3	21.4%
大阪ネクスト	27	17	63.0%
大阪南	170	136	80.0%
八尾	58	25	43.1%
八尾中央	12	7	58.3%
八尾東	27	5	18.5%
合計	645	366	56.7%

クラブ名	会員数	登録人数	%
大阪堂島	41	12	29.3%
大阪フレンド	21	11	52.4%
大阪みおつくし	8	7	87.5%
大阪西北	42	13	31.0%
大阪リバーサイド	32	18	56.3%
大阪船場	38	22	57.9%
大阪心斎橋	39	25	64.1%
大阪西南	109	51	46.8%
大阪ユニバーサルシティ	34	22	64.7%
大阪アーバン	29	29	100.0%
大阪うつぼ	37	21	56.8%
大阪西	100	54	54.0%
合計	530	285	53.8%

クラブ名	会員数	登録人数	%
大阪	258	34	13.2%
大阪イブニング	15	8	53.3%
大阪平野	46	35	76.1%
大阪城南	46	16	34.8%
大阪中之島	29	29	100.0%
大阪大手前	27	5	18.5%
大阪咲洲	18	5	27.8%
大阪東南	34	26	76.5%
大阪天満橋	50	17	34.0%
大阪天王寺	46	20	43.5%
大阪帝塚山	43	25	58.1%
合計	612	220	35.9%

	会員数	登録人数	%
2017年 7月 8日	3596	1707	47.5%

地区ローターアクト 活動報告

2017-2018 年度ローターアクト地区年次大会 報告-----

去る、2018年5月20日（日）に寝屋川ローターアクトクラブをホストクラブとして、地区年次大会を摂南大学寝屋川キャンパスにて開催いたしました。

当日は、ローターアクトらしい手作り感あふれる年次大会を作り上げることができました。

これもひとえに、普段からご指導くださいますロータリアンの皆様のおかげです。誠にありがとうございます。

年次大会とは、ローターアクトの1年間の総括の場であり、地区内外のローターアクターが一堂に会する情報共有の場でもあります。

今年度も、地区内ロータリアン、ローターアクター及び他地区ローターアクターなど300名を超える皆様にご参加いただくことができました。重ねて御礼申し上げます。



今年度の地区ターゲットである「想い愛」は、一人一人がローターアクターであることの自覚、誇りを持つこと。相手を想い、助け合い、絆を深めることを目的としています。

ローターアクトクラブの主役は、地区内の各クラブであり、所属している会員自身です。

そんな思いがあり、本大会テーマを「愛和-あい-」と掲げ、各クラブが、主体性をもって活動したものにスポットライトを当てるため、例年ホストクラブが担当するメインプログラムの時間をクラブ活動報告といたしました。

最初は時間の使い方、会場全体をどういうふうに巻き込むことができるのか、課題がたくさんあった中、たくさんの助言のおかげもあり、当日にはなんとか形にすることが出来ました。何事にも興味を持ち心豊かに、楽しみながら1年間アクト活動へ望んだことを、この年次大会の場で、各クラブ2分間の報告時間を使い、想いの共有をすることができたのではないのでしょうか。



当日においては、運営面等でも、ご迷惑をおかけすることもありました。まだまだ課題はありますが、大事なことはできなかったこと、もっとできたであろうこと、を「そのままにしないこと」です。そこにローターアクターの成長のヒントがあるのだと思います。

最後になりましたが、ローターアクト活動へ関わる全ての皆様に改めて感謝申し上げますとともに、今後も成長し続けるローターアクトの活動にご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



報告者：2017-2018年度 地区 RA 代表 三窪 真由
(所属：寝屋川ローターアクトクラブ)

2018-2019年度 ローターアクト地区年次大会

【開催概要】

- ホストクラブ：大阪淀川ローターアクトクラブ
- 日程：2019年5月12日(日)
- 場所：ホテルグランヴィア大阪
- テーマ：各ローターアクトクラブの活動内容が一日で垣間見ることができるのはこの日です。

皆様のお越しをローターアクト一同心よりお待ちしております。

文庫通信 (370号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約24,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

講演より

- ◎2人のRI会長・4つの骨の物語 渡辺好政 2018 2p (D.2690地区大会記念誌)
- ◎家族のきずな 今井鎮雄 2002 9p (D.2510RYLAセミナー)
- ◎働く誇り 矢部輝夫 2014 6p (D.2510RYLAセミナー報告書)
- ◎大切なのは今 黒川光博 2018 8p (D.2590地区大会の記録)
- ◎輝いて生きる ジュディ・オング 2018 5p (D.2780地区大会報告書)
- ◎グローバル化と自国第一主義 池上 彰 2018 19p (D.2760地区大会記録誌)
- ◎関ヶ原から読み解く日本近代史～中国地方の徳川400年 徳川家広 2018 12p (D.2690地区大会記念誌)
- ◎東海道新幹線とリニア中央新幹線 葛西敬之 2016 8p (D.2760地区大会記録誌)
- ◎『無言館』のこと－戦没画学生が伝えるもの 窪島誠一郎 2018 12p (D.2590地区大会の記録)
- ◎サービスの極意 田崎真也 2018 24p (D.2530地区大会記念誌)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日



Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2018年8月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
担当 第2ゾーン

■ 「私達が何をしているのか、どんな団体なのか」

2014-15年度第2760地区ガバナーを務めさせて頂き今年度公共イメージコーディネーター補佐をさせて頂きます近藤と申します。宜しくお願い致します。

今年度のバリー・ラシン国際ロータリー会長はトロント国際大会で私達一人一人が変化の推進者になって下さい、私達が何をしているのかどんな団体なのか分からしめて下さい、また、持続可能というレンズを通して見る変革のエージェントになって欲しいと言われました。例会に出ることの大切さも言っておりました。私達は5つの中核的価値観をもって3つの実践項目を各クラブ、各地区が実践したことの素晴らしさをクラブ例会・各種会合・マスメディアなど色々な場所、手段を使って広めていくことが重要だと思います。世界大会ではこんなことも言っておりました。The Four-Way Test・Service Above Selfを基本とし、Cooperation・Friendship・Partnershipの3つが大切だと。これに従い責務を務めてまいりたいと思います。

ARPIC 近藤 雄亮 第2760地区 名古屋瑞穂RC

■ 「ロータリーを知っていますか？」

ロータリアンの減少傾向に歯止めをかける為に公共イメージの向上を計る事が非常に大切だというのは存知の通りです。RIが行った少し古い資料によると一般の人に「ロータリーを知っていますか？」と尋ねた所40%は「聞いた事がない」と答え「名前だけは聞いた事がある」と答えた人も40%そして「ある程度は知っている」と答えた人が20%でした。その20%の人達も実際は間違っているか勘違いをしているという結果でした。さてその調査以降本当にロータリーの事を知っている人が増えたのでしょうか？自クラブの事で恐縮ですが私達のクラブは昨年度30歳代の会員が2名入会、今年度は28歳の会員が入会しました。しかし新会員候補の人と話してみるとロータリーの事はほとんど知らないのが現状で公共イメージ向上はもっと行う必要が有るという事を再確認しました。

ARPIC 原 拓男 第2600地区 佐久RC

■ 広報を通じて多くの人にロータリーを知ってもらえれば、活動へのサポートも増え、世界にもっと大きな変化をもたらせるでしょう。しかし、一口に「広報」といっても、ロータリーの襟ピンを着用することから、大規模なマーケティングキャンペーンまで、さまざまです。

活動を計画する際は、その活動を広報する方法も検討しましょう。ポイントを押さえた効果的な広報を行えば、人々に活動を知ってもらい、必要なサポートも得やすくなるはずです。

ロータリーのストーリーをどのように伝えたら最も効果的であるかは地元新聞、地元テレビ局のニュース、フェイスブックやツイッターで情報をキャッチし、どんな情報が人びとの興味を引くのかを知ることが大切です。さらに、地元ジャーナリストを例会に招いてメディアとの協力方法について話してもらったり、奉仕活動の現場をジャーナリストに直接見てもらうのもよいでしょう。



リソース&参考資料

- ・クラブを成功に導くリーダーシップ: 広報委員会編
- ・ロータリーのファクトシート (情報資料)
- ・自分にできること 今日からはじめよう (パンフレット)
- ・RI視覚的イメージのための手引き
- ・End Polio Now (ポリオ撲滅活動) のウェブサイト
- ・ロータリーのロゴ/グラフィックをダウンロード
- ・ウェビナーの登録

地区大会のご案内

地区大会実行委員会
委員長

小谷 公穂
(大阪南RC)



2018-19年度地区大会の大会委員長を仰せつかりました大阪南RCの小谷公穂です。実行委員会一同、皆さまに楽しんでいただけるよう全力で準備に取り掛かっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本年度、国際ロータリーのバリー・ラシン会長のテーマは「BE THE INSPIRATION ～インスピレーションになるう～」であります。それを受け、山本ガバナーは、地区内のロータリアンの皆さまと共に「インスピレーションになるう」この意味を共に考え、心に刻みたい、その思いで地区大会のテーマを「インスピレーションになるう」とされました。

バリー・ラシン会長の出身地、カリブ海のバハマには、野生のブタが泳ぐ島があります。それが、ビッグ・メジャー島です。カリブの透明な海をイメージし、皆さまにリラックスして地区大会を楽しんでいただけるよう、大会ポスターを作成いたしました。

地区大会は、地区内のロータリアンおよびそのご家族が一堂に会し、それぞれのクラブが行った事業や活動の状況を確認し、さらなる奉仕への情報発信と友情の輪を広げる年に一度の素晴らしい機会です。一人でも多くのロータリアンにご参加いただき、大いに地区大会を盛り上げていただきますようお願い申し上げます。

2018-2019年度
国際ロータリー 第2660地区

地区大会

2018年12月7日(金)・8日(土)

1st day

2018・12・7 (Fri.)

- 13:00～13:20 大会決議案上程／規定審議会報告
大阪国際会議場／特別会議場
- 13:20～15:00 会長・幹事懇談会／奨学生発表
大阪国際会議場／特別会議場
- 15:15～17:15 特別講演「ロータリーの柔軟性Flexibility
と多様性Diversity」
特別対談「これからのロータリーを考える」
大阪国際会議場／特別会議場

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

18:00～20:30 リーガロイヤルホテル／光琳の間

2nd day

2018・12・8 (Sat.)

- 10:30～10:50 記念撮影
- 11:00～12:00 顕彰昼食会
リーガロイヤルホテル／桂の間
- 12:15 友愛の広場
「インスピレーションに出会おう!!」
- 12:30～ オープニングセレモニー
大阪国際会議場／5Fホワイエ
- 13:00 開 場
- 13:30～ 本会議開会
- 15:40 休 憩
- 15:55～ 記念講演・抽選会
- 17:30 閉 会

大阪国際会議場／メインホール



2018-2019年度 国際ロータリー 第2660地区 地区大会

インスピレーションになるう

2018年12月7日金・8日土

グランキョウトブ大阪大桜南立国野全荘会場
530-0005 大阪市東淀川区野田5-1-51
T E L 06-6444-1111
リーガロイヤルホテル大阪
530-0005 大阪府北区中之島5-1-68
T E L 06-6444-1111
ホストクラブ・各種ロータリークラブ



1st day 2018-12-7 (Fri.)

13:00~13:20 大会誌贈呈式等・地区誌贈呈式等
大阪国際会議場・特別会場
13:20~15:00 礼拝・祈禱祭典・異字主持
大阪国際会議場・特別会場
15:15~17:15 特別講演「ロータリーの未来性(Future)
と多岐性(Diversity)を考える」
特別会場(無料からの申し込み可)
大阪国際会議場・特別会場

和合費(代金)未納者は特別会場
18:00~20:30 リーガロイヤルホテル / 光臨7時

Access 会場へのアクセス

国際中心通り2番出口すぐ(国際会議場) (リーガロイヤルホテル
は徒歩1分) 丹波橋駅より徒歩15分、大塚橋駅3番出口より徒歩
10分、東中津駅西3番出口より徒歩10分

2nd day 2018-12-8 (Sat.)

10:30~10:50 礼拝祭典
11:00~12:00 総会(昼食)
リーガロイヤルホテル / 特別会場
12:15 友誼の広場
(インスピレーションの心出典5分)
オープニングセレモニー
12:30~
大阪国際会議場 / SDホール

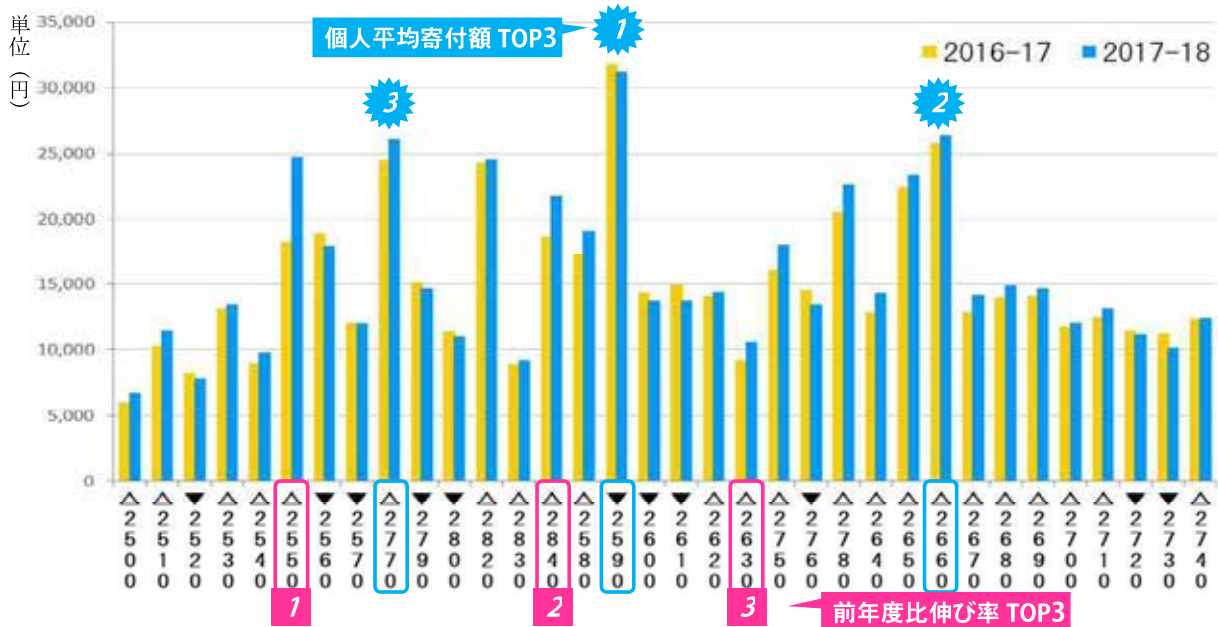
13:00 開 演
13:30~ 本会議開始
15:40 休 憩
15:55~ 記念講演・抽選会
17:30 結 合
大阪国際会議場 / メインホール



寄付金速報 — 2017-18 年度寄付金は 14 億円超 —

2017-18 年度の寄付金は約 14 億 3,400 万円でした。前年度と比べて 4.4% 増（普通寄付金 0.6% 増、特別寄付金 6.2% 増）、約 6 千万円の増加となりました。当財団設立 50 周年を記念しての個人・法人寄付等が多かったこともあり、

予算額 13 億 5,000 万円を無事達成することができました。ご寄付をいただきました皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。新年度も引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



個人平均寄付額 TOP3 全国平均：16,068 円

① 第 2590 地区：31,193 円 ② 第 2660 地区：26,424 円 ③ 第 2770 地区：26,079 円

前年度比伸び率 TOP3

① 第 2550 地区：135.4% ② 第 2840 地区：116.1% ③ 第 2630 地区：114.8%

第 2 回地区米山奨学委員長セミナーを開催

6 月 15 日、2018-19 年度地区米山記念奨学委員長を対象とした第 2 回セミナーを開催しました。下記の講話や事例研究が発表され、その後、4 つのテーマに分かれてグループディスカッション

が行われました。アンケートでは、どの講話も参加者の満足度が高く、「熱意を大いに感じたセミナー」「刺激を受けることがこの会合の最大のメリット」などの感想をいただきました。

- 地区委員長の責務—クラブ委員長とカウンセラーの教育、地区委員会組織の在り方— (安増惇夫 第 2700 地区ガバナー)
- 寄付増進の工夫 RID2840 の場合 (田中久夫 第 2840 地区ガバナー)
- ファイル共有サービスのご案内 (阿部大助 システム小委員会委員)
- 留学生支援の意義—日本の懸け橋となる人材の育成とは— (藤井修治 前富山大学国際部留学支援課長)
- 奨学生の育成—行事参加に非協力的な奨学生への対応— (富一美 第 2790 地区米山記念奨学委員長)
- 世話クラブ未経験クラブに世話クラブを (村瀬祐治 第 2630 地区米山記念奨学委員長)

ベトナムの学友グループの奉仕活動

ベトナム・ホーチミンの学友グループが7月1日、男児・男子学生を対象とする保護施設、Tre Xanh ホームを訪問し、制服や学用品などを寄贈して交流を行いました。

今回は、ホーチミンの学友クラブメンバー7人のほか、学友の教え子や日本人の友人、ホーチミン学友クラブが支援する奨学生など計14人が参加。同ホームでは現在、13人の男児・男子が共



同生活しており、学費や食費、光熱費を外部からの支援金で賄っているとのこと。

約1時間の交流のなかで、「サッカーが大好きな子もいれば、バスケットボール選手や俳優になりたいと思う子もいます。生活面では苦しいことが多くても、やはりみんな、それぞれの夢を持っていることを実感しました」と、チュオン トゥイ ランさん(2006-07/大宮北東RC)が語ってくださいました。

梅吉翁の朗読劇を披露 — 東京米山学友会 —

ロータリー米山奨学生学友会(東京)の総会が7月7日に都内で開催され、奨学生・学友71人とロータリアン、ローターアクターなど、総勢約120人が出席しました。今回の総会では、



米山梅吉翁の生涯を描いた朗読劇を上演。これは、米山奨学生学友会(関西)から提供された台本をアレンジし、学友・奨学生らが15回もの練習を重ねて披露されたもので、客席からは歓声と大きな拍手が送られました。当日は、近隣の学友会からも役員が出席。2018年度の東京学友会理事長として再任された梁一強さんは、「これからもロータリーファミリーや近隣学友会との交流の広がりを楽しみにしている。学友の皆が、勉強・仕事に忙しい中でも、ロータリアンや奨学生・学友との交流を深めていけるよう精一杯努めたい」と抱負を述べました。

今年の総会も大盛会！ — 関西米山学友会 —

7月8日、米山奨学生学友会(関西)の「2018-19年度 総会&新規奨学生歓迎会」が開催されました。今年も海外や他地区から学友やロータリアンが駆けつけ、参加者数は学友・奨学生90人、ロータリアン88人、総勢189人という盛会でした。

第一部では、昨年度の報告や今年度の活動計画、予算案の説明のほか、吉村正裕氏による特別講演「外国人留学生在がSNSで炎上し



ないための基礎知識」があり、参加者全員が真剣な面持ちで耳を傾けました。また、同学友会が今年からスタートした語学教室、「米山教室」の公開模擬授業では、会場が一体となって大変な盛り上がりを見せました。

同地区出身の米山学友で第3代よねやま親善大使に就任したアブデルアール・アハメドさんも、第2680地区(兵庫県)での講演後に駆けつけ、就任の喜びを伝えました。

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

仲 辻 章 会員 (吹田西RC)

2018年6月18日 逝去 享年88歳

会長、副会長、職業奉仕担当理事
米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

川 端 康 弘 会員 (大阪南RC)

2018年6月20日 逝去 享年75歳

米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター、米山特別功労法人

浅 沼 健 一 会員 (大阪南RC)

2018年6月23日 逝去 享年67歳

幹事
米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

花 岡 大 志 会員 (大阪難波RC)

2018年6月24日 逝去 享年39歳

お知らせ

■四条畷RC

6月30日付けで解散

■大阪天満橋RC

WEBサイトURL・メールアドレス 変更

新URL <http://www.temmabashi-rc.com/>

新アドレス temma-rc@temmabashi-rc.com

■訂正 月信7月号に下記の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

大阪心齋橋RC ビジターフィー 正 4800円/軽食日 3800円

公式訪問日程表 IM6組ロータリーデー 12日 ⇒ 11日

池田RC 周年の年 誤 60 ⇒ 正 65

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX またはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

月信編集委員会

- ガバナー 山本 博史 (大阪南RC)
- 地区代表幹事 宮里 唯子 (茨木西RC)
- 地区副代表幹事 山本 和良 (大阪南RC)
- 担当地区幹事 横尾 国治 (大阪南RC)
- 地区幹事 木村 芳樹 (大阪南RC)
- 地区幹事 栗原 大 (大阪フレンドRC)
- 事務局員 加茂 春日

2018 - 19年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	山本 博史
地区代表幹事	宮里 唯子
地区副代表幹事	飯井 克典
	山本 和良
事務局員	栗正 久美
	井上 望美
	加茂 春日
	船橋 美紗子
	杉本 亜鶴巳

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

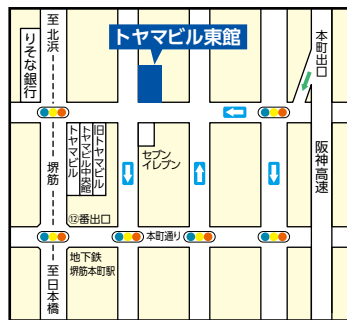
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日
夏季
2018年 8月13日(月)~
2018年 8月15日(水)
年末年始
2018年12月31日(月)~
2019年 1月 4日(金)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp